

(研究開発構想名)

東高がんばっていきましょい

— グローバルからグローバルへの挑戦 —

輝かしい伝統を受け継ぎ、新たな創造を切り拓く、
人間的魅力のあるグローバル・リーダーの育成

育成する 人材像

- 地域マネジメント力(課題発見力・企画立案力・協働実践力)を身に付け、郷土の課題の解決に貢献する志をもった人材の育成
- グローバルな視点を持ち、郷土の魅力を世界に発信し、持続可能な社会の発展に貢献する人材の育成

グローバル・リーダーを育成するための持続可能な課題研究

グローバルとの出会い

- G明教Ⅰ(1年1学期)
(研究領域) **アイデンティティとグローバル**
(テーマ) 明治の松山・松山中学から見たグローバル
- 市内フィールドワーク
坂の上の雲のまち探訪
 - (研究領域) **アジアと愛媛の企業**
(テーマ) 愛媛の企業のグローバル化とSDGsへの取組
 - 県内フィールドワーク
 - 海外フィールドワーク

グローバル課題の発見

- G明教Ⅱ(1年2,3学期)
(研究領域) **地域及び世界の持続的な発展のために**
(テーマ) **松山市総合計画及びまっつやま圏域未来共創ビジョンから学ぶ地域の魅力と課題**
- 協働的研究活動
 - ポスター発表
 - フィールドワークによる調査・研究
 - 産官学連携による探究活動

グローバル課題への取組

- G明教Ⅲ(2年 グローバルコース)
(研究領域) **地域マネジメント力の育成**
(テーマ) 「安心・安全のまちづくり」「魅力あるまちづくり」
- 協働的研究活動
 - 海外フィールドワークによる調査・研究
 - 国内フィールドワークによる調査・研究
 - 松山市高校生地方創生会議主催

グローバル課題の解決と発信

- G明教Ⅳ(3年 グローバルコース)
- 協働的研究活動
 - 卒業論文
 - 地域課題解決に向けた提言・実践
タウンミーティング
EGFキャンパスアワード
 - 中四国高校生地方創生会議主催
 - コンテストへの応募
 - 学会での発表

語学力 コミュニケーション能力

課題研究のための資質・能力育成

思考力・判断力 表現力・分析力 発信力

坊っちゃんタイム(言語活動の充実)

各教科・特別活動(1年全、2年グローバルコース)

○英語科

- ・高度なDiscussion&Debate力
- ・高度語学検定取得
- ・各種スピーチ・ディベート・エッセイコンテスト など

○内容言語統合型学習(East CLIL)

- (国語)英語俳句(地歴)十字軍(公民)選挙と民主政治(数学)多角形(理科)中和滴定(保健)感染症(家庭)理想の食事 など

○高大連携

- ・異文化理解とグローバル
- ・海外研修のための危機管理
- ・渡航者感染症
- ・「ことばの世界」「数学入門」

学校環境のグローバル化

- SGH部活用
- 海外修学旅行
アメリカ、シンガポール・マレーシア
- 海外留学促進
「ビジュアル留学JAPAN」等
- 留学生受入
- 県内留学生との交流
愛媛大学との連携
- 海外高校との交流
シンガポール・ドイツ・ウガンダ・中国
スカイプの活用
- 俳句の研究・発信・海外交流

愛媛の力(愛媛型産官学連携)

SGHで培ったネットワーク

発展

コンソーシアム

高等教育機関

- 愛媛大学
- ・課題研究指導
 - ・高大連携授業
 - ・ルーブリック評価
 - ・留学生派遣
- 松山大学

自治体

- 愛媛県・松山市
- ・海外研修支援
 - ・姉妹都市交流
 - ・施設開放、情報発信
 - ・学習情報の提供

国際交流事業拠点

- 愛媛県国際交流協会(EPIC)
松山市国際交流センター(MIC)
- ・留学生受入
 - ・海外派遣
 - ・海外交流助言
 - ・地域国際協力活動

調査研究組織

- いよぎん伊予銀行
地域経済研究センター(IRC)
- ・企業紹介
 - ・講演
 - ・運営助言

海外協力拠点校

- ・(台湾)開南大学
- ・(フィリピン)フィリピン大学附属校
- ・(アメリカ)UCLA
- ・(オーストラリア)フリンダース大学ELI校
- ・(シンガポール)ピクトリア・ジュニアカレッジ
- ・(中国)北京市月壇中学

民間企業

- 三浦工業・井関農機
住友化学・住友重機械工業
住友金属鉱山・住友林業
渦潮電機
・県内・海外フィールドワーク

地域NGO・NPO・JICA

- 愛媛グローバルネットワーク
・フェアトレード、国際協力活動
アジア・キッズ・ケア
・国際支援ボランティア、物資送付
JICA
・国際協力活動

協働

医療・社会福祉機関

- 愛媛県立中央病院
愛媛県社会福祉協議会

社会教育機関 (GLAM)

- 坂の上の雲
ミュージアム
子規記念博物館
松山市防災センター

愛媛県立松山東高等学校

| | | | |
|-------|-----------------|------|------------------------|
| ふりがな | えひめけんきょういくいいんかい | ふりがな | えひめけんりつまつやまひがしこうとうがっこう |
| 管理機関名 | 愛媛県教育委員会 | 学校名 | 愛媛県立松山東高等学校 |

2019年度 地域との協働による高等学校教育改革推進事業 実施体制の概要

1 管理機関・学校の概要

(1) 管理機関名、代表者名

管理機関名：愛媛県教育委員会

代表者名：教育長 三好 伊佐夫

(2) 学校名、校長名、研究を実施する学科

学校名：愛媛県立松山東高等学校

学科：普通科 専門学科 総合学科

校長名：村上 敏之

2 取組内容

(1) グローカル・リーダーを育成するための持続可能な課題研究プログラム開発【グローバル明教】

ア グローカル明教Ⅰ（総合的な探究の時間）【グローバルとの出会い】

・対象 第1学年全生徒（第1学期）

①（研究領域）アイデンティティとグローバル

（テーマ）明治の松山・松山中学から見たグローバル

<市内フィールドワーク>時期：4月下旬 場所：坂の上の雲ミュージアム・秋山兄弟生誕地等の松山市内の史跡・本校同窓会資料館・明教館

②（研究領域）アジアと愛媛の企業

（テーマ）愛媛の企業のグローバル化とSDGsへの取組

<県内フィールドワーク>時期：7月中旬 方法：40名～80名で各事業所を訪問

<海外フィールドワーク>8月 訪問先：台湾、フィリピン、12月 訪問先：中国

<報告会>時期：8月下旬 場所：子規記念博物館

方法：各訪問代表者によるプレゼンテーション

イ グローカル明教Ⅱ（総合的な探究の時間）【グローバル課題の発見】

・対象 第1学年全生徒（2学期・3学期）

（研究領域）地域及び世界の持続的な発展のために

（テーマ）松山市総合計画及びまつやま圏域未来共創ビジョンから学ぶ地域の魅力と課題

<講義>時期：9月上旬 講師：愛媛大学教授

演題：世界の持続的な発展のための開発目標（SDGs）とは

<講義>時期：9月中旬 講師：松山市総合政策部担当者

演題：松山市総合計画及びまつやま圏域未来共創ビジョンとは

<グループ学習>時期：9月下旬

方法：松山市の「笑顔のまつやままちかど講座」の活用によるグループ学習

<課題研究>時期：10月～3月 実施方法：グループ別探究活動

研究内容：松山市及びまつやま圏域の魅力と課題について

<成果発表会>時期：3月 方法：ポスターセッション

ウ グローカル明教Ⅲ（総合的な探究の時間）【グローバル課題への取組】

・対象 第2学年グローバルコース生徒（80名）（通年）

※生徒は、希望進路に関わらず、グローバルコースを選択することができる。

（研究領域）地域マネジメント力の育成

（テーマ）「安心・安全のまちづくり」「魅力あるまちづくり」

○ より高水準な専門的課題研究を行うためのグローバルコースの設定

○ 高大連携・地域連携による課題研究の深化

<海外フィールドワーク>

時期：8月上旬 訪問先：フィリピン

11月上旬 訪問先：ドイツ

<成果発表会>○中間発表会 時期：12月 方法：ポスターセッション

○研究成果発表会 時期：3月 方法：プレゼンテーション発表及び
シンポジウム

エ グローカル明教Ⅳ（総合的な探究の時間）【グローバル課題の解決と発信】

・対 象 第3学年グローバルコース生徒（80名）（第1・2学期）

グローバル明教Ⅲから引き継ぐ協働的探究活動及び研究論文の作成、成果の発信

<成果発表会>時期：9月（文化祭） 方法：プレゼンテーション発表及びシンポジウム
<情報の発信>

○ 松山市タウンミーティング 時期：9月

○ 「日本地域創生学会」等地方創生に取り組んでいる学会での発表を検討

○ 内閣府地方創生推進室主催「地方創生政策アイデアコンテスト」、愛媛県主催
「愛媛グローバル・フロンティア（EGF）アワード」、松山市まちづくり提案
制度（次世代育成支援事業）、愛媛大学社会共創学部主催「社会共創コンテスト」
等の地方創生コンテストへの応募

※ 中間発表会や成果報告会等では、課題研究に関するポスターセッションやプレゼンテーション
発表、シンポジウムを実施する。議論や発表方法等の検討を通じて、課題研究の深化を図るこ
とが期待できることから、これらの会には、グローバルコースに属さない生徒にも参加させ、
成果発表の評価や質疑応答に取り組ませる。また、活動報告等をまとめた成果物（News Letter
等）を全校生徒に配布するなどにより、グローバルコースでの成果を全校で共有することとす
る。

(2) 課題研究のための資質・能力育成カリキュラム開発【坊っちゃんタイム】

グローバル・リーダーの育成には、グローバルな視点で地域課題の解決に貢献する志はも
とより、日本語を母国語としない人々と議論したり、地域課題に関する研究成果について海
外に発信したりすることのできる高い英語力を育む必要があるため、次の取組を実践する。

ア 英語の授業において5年間のSGH事業の成果を生かし、高いレベルのディスカッション
力、ディベート力等を身に付けさせる実践的な「英語表現Ⅰ」「英語表現Ⅱ」の授業

イ 内容言語統合型学習（E a s t C L I L）による全教科での言語活動の充実

○ 英語以外の教科を英語で実施

○ 語学力向上と異文化理解の深化

○ 思考力・判断力・表現力・分析力の育成

(3) 学校環境のグローバル化

ア SGH部の活用

イ 海外修学旅行による体験的語学研修促進

ウ 海外留学及びアジア高校生架け橋プロジェクトを含む海外の留学生受け入れ促進

エ 県内留学生、海外高校生との交流

オ 俳句の研究・発信、俳句による海外交流及び中高連携

カ ICT活用による情報活用能力、情報発信能力の育成

キ 松山市の姉妹都市（フライブルク市（ドイツ）等）の高校生との交流促進

(4) SGHで培ったネットワークに松山市を加え、発展させたコンソーシアムの構築

ア 松山市を中心にした新たな教育資源を開拓

イ 新たな産官学連携のためのコンソーシアム構築

ウ 松山市内の高校生と連携し、地域課題を議論する「松山市高校生地方創生会議」の新設

エ 「中四国SGH高校生会議」を発展させた「中四国高校生地方創生会議」の新設

オ 他校で実施可能な地域協働による教育プログラムの開発

3 管理・運営方法

(1) 高等学校と地域との協働によるコンソーシアムの体制

| 機関名 | 機関の代表者名 |
|-----------------|-------------|
| 松山市教育委員会生涯学習政策課 | 課長 重松 一禎 |
| 松山市総合政策部企画戦略課 | 課長 田中健太郎 |
| 愛媛大学社会共創学部 | 学部長 西村 勝志 |
| 松山大学人文学部 | 学部長 山田 富秋 |
| いよぎん地域経済研究センター | 社長 重松 栄治 |
| えひめ地域づくり研究会議 | 代表運営委員 山本 司 |
| 常盤同郷会 | 理事長 山崎 薫 |
| 愛媛県社会福祉事業団 | 理事長 仙波 隆三 |
| 愛媛県教育委員会高校教育課 | 課長 和田 真志 |
| 愛媛県立松山東高等学校 | 校長 村上 敏之 |

(2) 将来の地域ビジョン・求める人材像等の共有方法

計画立案段階及び年度当初に、コンソーシアム代表者会議を開催し、松山市及びまつやま圏域が掲げる将来の地域ビジョン・求める人材像等の共有を図る。その後、8月、3月に開催するコンソーシアムにおいて、本事業が地域ビジョン・求める人材像に合致しているかを検討し、改善を図る。

(3) コンソーシアムにおける研究開発体制

地元自治体である松山市との連携の下、5年間のSGHで培ったネットワークを活用し、産官学でコンソーシアムを構築する。

海外進出企業及び地方創生に取り込む企業の紹介・交渉を調査研究組織である「いよぎん地域経済研究センター」に依頼する。また、より広範囲のテーマの課題研究に向けた協働的な地域課題研究のため、えひめ地域づくり研究会議、常盤同郷会、愛媛県社会福祉事業団等に協力を依頼し、研究開発体制を構築する。

管理機関として指導助言及び支援を愛媛県教育委員会高校教育課に、生徒が主体的に地域課題研究を行うために必要な地域が抱える課題及び魅力あるまちづくりに関する視点の育成の支援を松山市に依頼する。「第6次松山市総合計画」「まつやま圏域未来共創ビジョン」等の担当者と協働しその体制を構築する。

SGH事業で培った、高大連携による広範囲・高度な課題研究の体制を維持し、持続的な高大連携につなげる研究体制を愛媛大学と構築する。また、資質・能力向上のために愛媛大学の高大接続科目及び大学主催の特別公開講座の受講も推進する。さらに、地域課題解決の観点から、地域とのつながりの深い松山大学との新たな連携も構築する。

(4) 海外交流アドバイザー（グローバル型）の指定及び配置計画

本校に勤務している海外交流アドバイザーを継続指定（月3～4回×4時間×12月配置）

氏名：村上美智子（海外経験豊富、本校SGH事業における海外交流アドバイザー）

職務・経歴：地域課題研究委員会の委員として、グローバル課題への取組の指導・助言及び外部機関との連絡・調整を行う。同氏は、SGH事業においても海外交流アドバイザーをしており、海外フィールドワークに関する様々な折衝や、県外のSGH校との連携、本校の英語版HP等に関わる重要な業務を遂行した。本事業でも、その経験を生かし、海外交流アドバイザーを依頼し、今後は、各教科・科目や総合的な探究の時間に相当する「グローバル明教」やSGH部による放課後の海外の機関との連携交渉などを担当する。

(5) 地域協働学習実施支援員の指定及び配置計画

管理機関により、地域協働学習実施支援員を指定（月7～8回×4時間×12月配置）

氏名：嶋村美和（元京都大学東南アジア研究所研究員、本校SGH事業における特別非常勤講師）

職務・経歴：地域課題研究委員会の委員として、産官学の外部関連機関との連絡・調整を行う。同氏は、SGH事業において、特別非常勤講師として、専門分野のアジア・アフリカ

地域研究をもとにして、「世界から日本を見る」「愛媛の国際化」「フィールドワーク入門」「多様性を考える」などのテーマで、生徒に課題研究の指導をした。同氏が有する知識及び技能は、生徒の学習への興味・関心の高まり、志の醸成に多大な貢献をした。本事業では、地域協働学習実施支援員として、各教科・科目や総合的な探究の時間に相当する「グローバル明教」実施時における外部との調節、探究的な学習活動のファシリテーションに係る業務を担当する。

(6) 運営指導委員会の体制

| | | | |
|------------|-----------------------|-----|-------|
| ・学識経験者（2名） | 四国地区国立大学連合アドミッションセンター | 教授 | 井上 敏憲 |
| | 松山東雲女子大学 | 教授 | 佐伯三麻子 |
| ・文化（1名） | 坊っちゃん劇場 | 支配人 | 平野 淳 |
| ・国際（1名） | (有)クラパムコモンカンパニー | 代表 | 菅 紀子 |
| ・経済（1名） | 三浦教育振興財団 | 監事 | 寺村 尚起 |
| ・学校教育（1名） | 松山南高等学校(S S H指定校) | 校長 | 染田 祥孝 |
| ・松山市（1名） | 総合政策部地方創生戦略推進官 | | 吉田 健二 |

(7) 研究成果報告・事業成果の検証に向けた計画

ア 生徒の変容の検証

アンケート調査、観察、レポート、プレゼンテーション作品、成果発表会、討論会、学力調査

イ 教員の変容の検証 アンケート調査、観察

ウ 保護者の変容の検証 アンケート調査、観察

エ 学校の変容の検証 自己点検・自己評価、学校評価委員会による評価

オ 松山市、大学、企業、国際機関との連携に対する検証 アンケート調査

カ 運営指導委員会による評価

(8) 管理機関又はコンソーシアムによる主体的な取組・支援

管理機関：本事業実施上必要な指導・助言、及び予算面、人事配置等本事業の円滑な運営実施における支援

コンソーシアム：事業計画の立案及び実施における協力・助言

地域課題研究のための外部関係機関の紹介・交渉

- ・5年間のSGHで構築したネットワークに、本事業から地元自治体として松山市が参画・地域課題研究のため松山市が中心となったコンソーシアムを構築
- ・松山市総合政策部企画戦略課が窓口となり各課との連絡調整を行い、広範囲の地域課題研究を円滑に行うことができるよう協働して支援

(9) 事業終了後の継続的な取組の実施に向けた計画

本事業は、地域課題の解決に貢献する志を持ち、地域を支える人材の育成に貢献する事業であり、事業終了後も継続して探究的な学びである地域課題研究に取り組む。

- ・課題研究の課題設定に必要な情報の提供について、松山市主催の「笑顔のまつやままちかど講座」を活用する。
- ・課題研究に係る企業等訪問について、本校の地理的な利便性を生かし、引き続き実施する。
- ・SGH事業で培った高大連携事業の一環として作成したルーブリック評価票を活用し、探究活動を活性化させることにより、生徒の主体的、対話的で深い学びを促進する。
- ・課題研究のための必要な資質・能力育成カリキュラム開発について、5年間のSGH事業及び3年間の本事業の取組を発展させていく。
- ・新設する「松山市高校生地方創生会議」を継続して実施する。
- ・平成27年度にSGH事業の海外フィールドワークを支援することを目的に「松山東高等学校グローバル人材育成振興会」が発足。平成28年度からは、海外フィールドワークを含む、グローバルリーダーを育成する様々な活動を支援することとなった。多くの賛同者からの寄付により、様々な事業に支援を受けた。140年の歴史を有する本校は、産官学に多くの人材を輩出しており、本事業の取組を地域に今まで以上に発信し、より多くの支援を目指す。

2019年度 地域との協働による高等学校教育改革推進事業 研究開発の概要

| | | | | | | | |
|-----------|--|--|----|----|-----|---------------|-----|
| 指定期間 | ふりがな | えひめけんりつまつやまひがしこうとうがっこう | | | | ②所在都道府県 | 愛媛県 |
| 2019～2021 | ①学校名 | 愛媛県立松山東高等学校 | | | | 県 | |
| ③対象学科名 | ④対象とする生徒数 | | | | | ⑤学校全体の規模 | |
| | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 計 | 1学年9学級 1,063名 | |
| 普通科 | 360 | 80 | 80 | | 520 | | |
| ⑥研究開発構想名 | 東高がんばっていきましょい ーグローバルからグローバルへの挑戦ー | | | | | | |
| ⑦研究開発の概要 | ア グローカル・リーダーを育成するための課題研究プログラム開発【グローバル明教】 イ 課題研究のための資質・能力育成カリキュラム開発【坊っちゃんタイム】 ウ 学校環境のグローバル化 エ S G Hで培ったネットワークに松山市を加え、発展させたコンソーシアムの構築 | | | | | | |
| ⑧研究開発の内容等 | ⑧-1全体 | <p>(1) 目的・目標</p> <p>輝かしい伝統を受け継ぎ、新たな創造を切り拓く、人間的魅力のあるグローバル・リーダーの育成</p> <p><育成する人材像></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域マネジメント力(課題発見力・企画立案力・協働実践力)を身に付け、郷土の課題の解決に貢献する志を持った人材 ・グローバルな視点を持ち、郷土の魅力を世界に発信し、持続可能な社会の発展に貢献する人材 <p>(2) 現状の分析と研究開発の仮説</p> <p>○現状分析</p> <p>松山市及びまつやま圏域は、本格的な人口減少社会の到来と急速な高齢化を迎え、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な世代の人がつながり支えあう、安全で安心なまちづくり ・誇れるアイデンティティ、良質な生活環境、豊かな自然という宝の継承 ・地域の魅力・活力があふれるまちづくり <p>が課題となっており、地域課題の解決に向けてグローバルな視点の下、持続的発展を担うグローバル人材の育成が求められている。</p> <p>○仮説1</p> <p>「まつやま圏域未来共創ビジョン」が掲げる目指すべき将来像やその実現に向けた具体的な取組、『第6次松山市総合計画』が示す、一人でも多くの人が笑顔で自分たちの住むまちに愛着や誇りを持ち、また、魅力にあふれ、市外の人からも「行ってみたい」「住みたい」と思われるまちづくりのための施策を学び、松山市を中心とした産官学連携の下、その施策を地域課題研究のテーマとすることで、生徒の主体的、対話的で、深い学びを実践することができる。</p> <p>○仮説2</p> <p>5年間のS G H事業における、世界の持続可能な発展に貢献する深い教養、問題解決能力・コミュニケーション能力等の国際的素養を身に付けさせるプログラム開発に加え、地域課題解決を根幹としたグローバル・リーダーを育成する課題研究プログラムを開発する。また、課題研究のための資質・能力を育成するカリキュラム開発、学校環境のグローバル化、松山市を加え、発展させたコンソーシアムの構築に取り組むことにより、これまで愛媛県のリーダーを育成してきた本校として、地域課題の解決と地域の魅力発信に必要な地域マネジメント力を身に付けた、郷土に貢献するグローバル・リーダーを育成することができる。</p> <p>○仮説3</p> <p>本校は前身の松山藩校・明教館設立から190年、愛媛県最初の中教育機関である</p> | | | | | |

| | |
|---|--|
| | <p>旧制松山中学校創設から 140 年の歴史を持つ伝統校である。本校のネットワークを利用した発信力を発揮することにより、地域と協働した教育改革を力強く推し進めることができる。</p> |
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">⑧ -2 具 体 的 内 容</p> | <p>(1) 地域との協働による探究的な学びを実現する学習の実施計画</p> <p>ア 「総合的な探究の時間」での実施計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1 年次 1 学期 グローカル明教Ⅰ「グローバルとの出会い」 <ul style="list-style-type: none"> ・常盤同郷会・松山市との協働による、講義及び市内フィールドワーク ・企業・大学との協働による、講義及び県内フィールドワーク ・海外進出企業の巡検及び現地高校や大学との交流を行う海外フィールドワーク ○ 1 年次 2・3 学期 グローカル明教Ⅱ「グローバル課題の発見」 <ul style="list-style-type: none"> ・松山市・大学との協働による、地域の魅力に関する講義・グループ学習 ・産官学連携による協働の下で行う、生徒の主体的な課題研究 ○ 2 年次通年 グローカル明教Ⅲ「グローバル課題への取組」 <ul style="list-style-type: none"> ・地域マネジメント力の育成のため、産官学連携の下、「安全・安心のまちづくり」「魅力あるまちづくり」のテーマでの課題研究 ・課題研究の内容深化のための海外フィールドワーク ○ 3 年次 1・2 学期 グローカル明教Ⅳ「グローバル課題の解決と発信」 <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル明教Ⅲから引き継ぐ探究活動及び研究論文の作成、成果の発信 <p>イ コンソーシアムの体制</p> <p>松山市教育委員会生涯学習政策課、松山市総合政策部企画戦略課、愛媛大学社会共創学部、松山大学人文学部、いよぎん地域経済研究センター、えひめ地域づくり研究会議、常盤同郷会、愛媛県社会福祉事業団、愛媛県教育委員会高校教育課、愛媛県立松山東高等学校</p> <p>ウ 実施評価</p> <p>運営指導委員会評価、コンソーシアム評価、ルーブリック評価法を用いた教員・生徒による評価、保護者評価、自己評価</p> <p>エ 教科横断的な取組</p> <p>内容言語統合型学習（E a s t C L I L）による全ての教科での言語活動の充実</p> <p>(2) カリキュラム・マネジメントの推進体制</p> <p>本事業のカリキュラムの実施は、コンソーシアムによる地域ビジョン・求める人材像の明確化により、地域課題研究委員会によってマネジメントする。地域課題研究委員会は、教頭・学年主任・教務課長・進路課長・図書研修課長・グローバル事業課長・課員及び地域協働学習支援員・海外交流アドバイザーから構成され、課題研究の計画、実施のための連絡・調整・支援、進行状況の確認・点検、評価を行うための計画作成を行う。課題研究チームは、地域課題研究委員会が作成した計画に基づき、地域協働学習実施支援員が中心となり外部との調整及び教職員（教科指導委員会・学年会・教科会）との連携を図りながら、カリキュラムを実施する。また、海外交流チームは、海外交流アドバイザーが中心となり、海外フィールドワークの計画・調整、海外留学の支援、留学生の受け入れ等を、グローバル事業課・英語科と連携しながら実施する。</p> <p>(3) 必要となる教育課程の特例等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○適用範囲：第 1 学年全生徒 教科：情報 科目：「情報の科学」 単位数 1 単位（標準単位数 2 単位） ○適用範囲：第 2 学年（年次進行で実施）普通科 グローカルコース 教科：保健体育 科目：「保健」 単位数 1 単位（標準単位数 2 単位） <p>以上の教育課程の特例を適用することにより、「総合的な探究の時間」（グローバル明教）の単位数をそれぞれの学年 2 単位で実施する。</p> |
| <p>⑨その他 特記事項</p> | <p>特記事項なし</p> |